

必ず、適期に播種をしましょう!!

【播種適期】

	播種期	最適播種期
平坦地 (標高0～200m)	11/15～11/30	11/20～11/25
中間地 (標高200～400m)	11/10～11/25	11/15～11/20

令和7年産の状況

- ・11月上旬、下旬で平年より降水量が多くなった。それにより前作の水稻と大豆の収穫が遅延し、**麦の播種が遅延した**。
- ・一方で、12月以降は少雨と低気温により、**12月播種となった圃場では、出芽に遅延が生じた**。
- ・それ以降は、2月が平年より低気温により生育に遅延が起きたが、3月下旬より出穂し、その後は生育が順調に推移した。

播種が遅れることにより起こる悪影響

- ①生育期間が短くなり、**収量の減少**につながる。
- ②麦全体の作業が遅れ、その後の**水稻、大豆の作業も遅くなる**。

【適期播と晩播の収量の違い】 参考：宇佐市の試験のデータより

	収量 (kg/10a)	出穂期	成熟期
適期播 (基準日：11/20)	340	3/31	5/15
晩播 (基準日：12/15)	314	4/10	5/22

